

議会たより

No.95
平成24年4月19日

松崎



花畑までお散歩（聖和保育園の園児たち）

第1回定例会（3月6日～3月14日）

- ・平成24年度当初予算…………… 2
- ・平成23年度補正予算…………… 7
- ・条例・その他…………… 8
- ・町政を問う 一般質問に5議員…………… 9

第1回臨時会（1月30日）

- ・臨時会 他…………… 14

予算総額33億4千万円 各種施策の積極的展開に期待



平成24年度予算は、前年対比5,000万円、1.5%減の歳入歳出総額33億4,000万円とした。

行財政運営の合理化に努めつつ、「安全安心なまちづくり」や「平成の花とロマンのふるさとづくり」を基本理念とした各種施策の積極的な推進に期待するものである。主な新規主要事業は、南郷橋耐震補強補修3,400万円、テニスコート改修3,000万円、津波監視用カメラ整備1,000万円、庁舎非常用発電設備設置設計650万円、国際理解教育振興504万円、青年就農給付金450万円、ハーブ試験栽培350万円など。

歳入
町税前年度比
総額2千百万円の減額

問 前年対比、個人住民税が1千200万円の増額、固定資産税が2千500万円の減額となっているが、その要因は何か。

窓口税務課長 住民税の増額については、16歳未満の扶養控除と、高校生の控除上乘せが制度上廃止になったもの。控除額は試算で2億9千万円くらいになる。固定資産税の減額については、評価替の年となるもので地価の下落もあり予定税額が前年比、土地で94.2%、家屋で90.1%、償却資産で101.8%になる。

15億6千万円ほどになっている。もう少し当初で見込んで事業の活性化を図るべきではないか。

総務課長 地方交付税の算定については、国の地方財政計画により計上している。国では昨年並みを確保するとしているが、不安定要素もあり予算割れないよう計上した。

問 たばこ税、入湯税、重量税の状況は。

窓口税務課長 たばこ税については、平成22年10月に税率が改正されたが、流動人口や喫煙者の減少に伴い、前年度比1千万円の減額。入湯税についても流動人口の減少、旅



第1回定例会 議場

館、民宿などの休業により、159万円の減少となっている。

総務課長 自動車重量譲与税については自動車重量税の1.3相当額が町へ

交付される。平成21年から平成24年までのハイブリッド車への免税のため、税金は減少傾向である。

問 町税の滞納に対する取り組みはどうか。

窓口税務課長 徴収率は毎年下がっている状況。年末、年度末には他課と合同での訪問徴収や滞納

整理機構へも依頼している。住民税は静岡県が徴収率全国最下位ということで県の指導も受け、対策を講じている。

問 滞納者に対するインターネット競売の取り組みは。

窓口税務課長 物品などを差し押さえてインターネットオークションをやっている自治体も増えてきている。滞納整理機構へ委託している部分は売れる物は差押えて競売にかけている。

歳出

安心安全なまちづくりに重点

問 那賀花畑の予算総額と今年状況についてどう分析しているか。

企画観光課長 花畑の予算は、報償費19万8千円、委託料328万1千円、原材料費147万7千円で総額495

万6千円の予算となる。温泉やぐら周辺は試験的に種類も増やし、種を早くまいたため開花が進んでいる。全体的には気温の影響などにより遅れている状況。

問 消防団の入退団および充足率の状況は。

総務課長 平成24年度では、退団28人、入団24人となっている。270人の定員で8人の欠員が生じている。

問 マスコットキャラクター製作業務の経過と内容は。

町長 中高一貫教育の西

豆学発表会において、中学生から提案もあり、総合計画委員会でも話題となったもの。視覚に訴えて町づくりを生かしていきたい。

め商標登録の手続きも行うもの。

企画観光課長 キャラクターのデザインを公募し、着ぐるみを2体製作する。多分野での活用を図るため

企画観光課長 振興公社に委託するもので、モニターツアー、体験メニューの開発、子ども農山漁村交流プロジェクトの誘致を推進していく。



那賀の花畑で種をまく小学生

問 火葬場の建設について、西伊豆町との協議は進んでいるのか。

窓口税務課長 西伊豆町が合併特例債を使って建設するという事で協議が進んでいる。完成後の運営については、その時になったら話し合うことになっている。平成24年度は、炉の修理で400万円を予定しているため、負担金が増えることになる。

問 訪問給食サービス事業委託、ボランティア給食サービス事業補助の内容は。

健康福祉課長 訪問給食サービス事業は、一人暮らし高齢者宅に配食する毎日型の給食サービス。一食600円のうち300円を町が補助するもの。協力業者は4社で、平成24年度は5千食を予定。ボランティア給食サービスは、ボランティア3団体が、高齢者宅へ月1〜2回配食している。平成23年度では130世帯、2千食の配食を見込んでいる。利用

者負担は無く、町と社会福祉協議会が1食当たり500円を団体に補助している。各事業とも配食だけではなく安否確認も含めてお願いしている。

問 新規事業であるトレイルランニングの経済効果は。

企画観光課長 参加者千500人のうち千人が宿泊すると約700万円の宿泊費と別途飲食なども見込まれる。事業に関連するものは、町内発注できるように要望していきたい。

トレイルランニングとは

主に山などの自然の中を走るスポーツ。登山道や林道など舗装されていない道を走る。今回の大会は、松崎をスタートし、伊豆市をゴールとする約70キロのコースで、千500人を参加目標に掲げる。全国では、年間約100レースが行われており、今回の実施は平成25年3月の予定。

問 津波対策の一環としての避難タワー建設をどう考えるか。

町長 避難タワーの設置に反対しているわけではなく、治水対策委員会の協議の中で検討していきたい。

問 津波監視カメラ整備の有効性は。

総務課長 県費補助を活用し設置するもの。可動機能をもたせ、通常時の海の様子もパソコン上で見ることが可能となり、災害時の情報収集以外に

も有効に活用したい。松崎・岩地・石部・雲見の4海岸に設置する。

問 国際理解教育振興事業委託の内容は。

教育委員会事務局長 小学校5・6年生で英語が必修になったことや中学校の英語授業数が増えたことに対応するため外国語指導助手（ALT）の活用により英語教育の強化を図るもの。補助制度は無く、町単独で実施する。



ボランティアグループひまわり会の給食づくり

反対討論

活力あるまちづくりを展開しているが、地域経済の落ち込みは激しく、今回の予算内容では、その打開策とはなり得ない。やさしさのあるまちづくりにおいてもやさしさを他の町より感じることが、わずかである。緊縮だけが表に出るだけで投資効果も期待できず反対する。

賛成討論

完全なものとは言えないが多くの掘り出しものもある。観光施策については評価できる。厳しい状況下で議会も一致団結して町の振興のため、がんばっていかなければならない。町長のさらなる挑戦に対する努力に期待し賛成する。

国民健康保険会計

予算総額12億5千813万3千円、前年度比3千18万3千円、25%増となった。

問 国民健康保険税の減免対応はどのようになっているか。

健康福祉課長 減免は地方税法により、天災その他特別の事情がある場合、貧困により生活のため私の扶助を受ける者、その他特別の事情がある者



特定健診後の栄養指導

に限ると規定されており、町の条例もこれに基づいたものになっている。平成24年度は健康福祉課の事業をまとめたものを発行する予定であり、その中で周知を図りたい。

問 重篤な病気により多額の費用がかかった場合、一時的な立替え制度はあるのか。

健康福祉課長 高額療養費の窓口負担については限度額適用認定証を提出することによって限度額が最高で8万円くらいに

なる。滞納があつた場合には該当にならない。

問 今年度から脳ドックの補助が追加になったと聞くが人間ドックとは別の補助か。

健康福祉課長 一人1万5千円の定額補助でいずれかを選択するもの。

後期高齢者医療会計

予算総額1億2千27万1千円で前年度比1千512万円、14%増となった。歳出のほとんどは、静岡県後期高齢者広域連合への納付金が占める。

問 保険料が4月から値上げとなるがその要因は。

健康福祉課長 保険料は県下一律で他の市町も同じとなる。人口の構成比を基に国で負担率の見直しをしている。

介護保険会計

第5期計画の1年目となる総予算額は8億7千920万8千円で前年度比141

%増となった。

問 一次予防事業対象者機能向上事業の内容は。

健康福祉課長 町独自の事業。秀生会（デイサービスセンター松崎）に委託しており脳機能低下を防ぐ目的でドリルや体操などを行っている。平成23年度は定員20人に対し18人の参加があつた。好評なことから平成24年度は1回4カ月の教室を2回開催したい。

集落排水事業会計

3事業とも使用水量は減少傾向が続いている。

◎岩地集落排水事業
予算は669万2千円を計上。

◎石部集落排水事業
予算は525万6千円を計上。

◎雲見集落排水事業
予算は2千993万4千円を計上。



脳力アップ教室（デイサービスセンター松崎）

水道事業会計

予算は事業収益1億6千46万3千円、事業費用1億4千678万8千円、純利益を1千46万9千円とした。

資本的支出では、県道拡幅工事に伴う建久寺地区の水道本管移設工事と八木山新井戸試掘工事などを実施する。

問 一般家庭の平均的な水道使用量の値はどの程度か。

生活環境課長 2月現在の平均値を見ると一般家庭では月18³m³、営業用では月49³m³となる。

問 中央監視設備工事実施設計業務委託の内容は、生活環境課長 水道関係は現在、浄水施設7カ所、配水池14カ所、ポンプ施設3カ所と多岐にわたつ



江奈ポンプ場の点検

ている。施設の異常は、1日1回の点検か、利用者からの通報により対応している状況。中央監視施設は、配水池の水位や流量、水質などを常に1カ所で把握できるようにシステムを構築するもの。その設計業務を委託する。

温泉事業会計

供給戸数は自家用320戸、営業用他36戸。予算は事業収益を6千640万1千円、事業費用を6千367万4千円、純利益を100万7千円とした。

資本的支出予算では、貯湯タンク改修工事と水道事業会計への貸付金5千万円などを計上した。

問 水道事業会計へ5千万円の貸付があるが、それによって温泉事業会計が不利益を被むることにならないか。

副町長 独立した会計なので不利益のないよう手当てをしていかなければならないと考えている。

まつざき荘会計

宿泊利用率47%、宿泊人員2万3千500人を目標とした。予算は事業収益3億2千540万円、事業費用3億1千730万円、純利益805万5千円とした。

問 赤字経営をどう立て直していくのか。
町長 人件費などを抑制しながらサービスの向上に努めるしかないと思っている。ネット予約の底

上げも図り、目標値達成に向け努力していきたい。
問 お客様のニーズをどう把握しているか。

企画観光課長 宿泊客のアンケートやネットの書き込みなどを注視している。

問 宿泊客のリピーター率（繰り返し宿泊される方の割合）は、
企画観光課長 2月末の状況で43.1%、8千人前後で推移している。



伊豆まつざき荘の経営立て直しは

一般会計

補正予算(第5号)は、歳入歳出から1億264万1千円を減額して補正後の額を40億2千601万8千円とした。

歳入歳出の差額4億219万4千円は財政調整基金へ積み立てる。

また、平成23年度末までに事業完了ができないと思われる5事業について平成24年度への繰越明許とする。

問 減額が1億円を超えている。12月の補正で間に合うものはなかったか。

総務課長 工事関係で大きなものが予定されており、それらの入札差金が多かった。町の財政状況を勘案し、適正な補正に努めたい。

問 全体的な予算の執行率はどの程度か。
総務課長 明細別の執行率は委託料81.1%、工事請負費79.8%、備品購入費74.9%など。予算上の執行率は82%くらいになる。

問 執行率が低いのではないか。

総務課長 限られた予算の中で各課において適正な執行に努めたところであるが結果的にこのような数値となっている。

問 固定資産税300万円増額の理由は何か。

窓口税務課長 平成22年から法人の申告書の閲覧が可能となり償却資産関係の閲覧により、台帳のチェック漏れが判明し、修正したものである。

国民健康保険会計

補正予算(第2号)は、歳入歳出から269万6千円を減額して補正後の額を12億2千962万9千円とした。

問 特定健診受診率が3年連続で落ちてきているがどう考えるか。

健康福祉課長 検査項目に腎臓機能の調査を入れたり、肺がんの検診を併せて実施したりと毎年策は講じているが受診率の向上にはつながらず、苦

慮しているところである。

問 一般被保険者療養費が500万円減額になっている要因は何か。

健康福祉課長 前年と比較して6歳未満の方、70歳以上の3割負担の方の通院が少なくなったことが要因として考えられる。

後期高齢者医療会計

補正予算(第2号)は、歳入歳出から150万1千円を減額して補正後の額を12億2千962万9千円とした。

介護保険会計

補正予算(第2号)は、歳入歳出から2千130万8千円を減額して補正後の額を8億3千633万3千円とした。

水道事業会計

補正予算(第3号)は、事業収益を給水収益の見込み減により360万円減額し、事業費用を動力費の減などにより285万8千円の減額としたため、当年

度純利益を54万8千円減額して、1千253万8千円とした。

問 給水収益減の原因は何か。

生活環境課長 震災の影響で7・8・9月の減少が大きかった。他の月は前年並みに確保できた。



水道水残留塩素の検査 (建久寺地内)

まつぎき荘会計

宿泊利用者の見直し(2万6千50人↓2万220人、△5千830人)により事業収益を6千980万円減額、事業費用を3千349万9千円の減額としたため、当年度純利益を3千630万1千円減額して、△2千993万3千円とした。

問 年代層別の利用状況はどうか。

企画観光課長 50〜60歳代が45%、40歳代を入れると70%近くの数値となる。

問 インターネットによる予約割合はどの程度を占めるか。

企画観光課長 ネット予約は全体の28.6%を占めている。

問 年間稼働率はどの位か、黒字になるために必要な稼働率は。

企画観光課長 稼働率は40.4%を見込んでいる。黒字にするためには47%が必要と考えている。

温泉事業会計

補正予算(第1号)は、事業費用を動力費の減などにより165万6千円の減額としたため、当年度純利益を165万6千円増額して515万1千円とした。

条例・その他

松崎町消防団条例の一部改正

消防団員用の活動服購入に伴い、消防団員に対する貸与品に関する品目を改正し、使用期間5年間を廃止するもの。

松崎町税条例の一部改正

地方税法の一部改正などに伴うもの。
 ①退職所得に係る個人住民税の10%税額控除を廃止する。
 ②たばこ税の一部を都道府県から市町村に移譲する。
 ③平成26年度から平成35年度までの間、個人住民税の均等割の税率を引き上げる。町民税年額3千円↓3千500円、県民税年額1千400円↓1千900円
 ④固定資産税(土地)の第1期納期限の変更。
 4月1日から同月30日まで↓5月1日から同月31日まで

松崎町介護保険条例の一部改正

第5期介護保険事業計画の策定に伴い、平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者保険料を基準月額4千円から4千400円に改正するもの。
 共立湊病院組合規約の全部を変更する規約

下田市への病院機能移転に伴い、規約を変更するもの。

・組合の名称変更
 共立湊病院組合↓一部事務組合下田メディカルセンター
 ・施設全ての利用料金制により診療報酬および介護報酬は指定管理者が直接收受することになるため組合の収入から除外する内容変更など。

監査委員の選任

平成24年3月31日付で退職となった真野鍊成氏(吉田)の後任に土田利雄氏(江奈)を選任する人事案件に同意した。

第1回定例会の賛否状況一覧

議案番号	件名 / 議員	藤井	福本	佐藤	高柳	土屋	関	一瀬	稲葉	鈴木
		要	栄一郎	作行	孝博	清武	唯彦	寿一	昭宏	源一郎
議案4号	松崎町消防団条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案5号	松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案6号	松崎町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案7号	松崎町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案8号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案9号	共立湊病院組合規約の全部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10号	賀茂郡介護認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11号	賀茂地区障害認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案12号	平成23年度松崎町一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案13号	平成23年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14号	平成23年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案15号	平成23年度松崎町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案16号	平成23年度松崎町水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案17号	平成23年度松崎町温泉事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18号	平成23年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19号	平成24年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案20号	平成24年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案21号	平成24年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案22号	平成24年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案23号	平成24年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案24号	平成24年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案25号	平成24年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案26号	平成24年度松崎町岩地集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案27号	平成24年度松崎町石部集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28号	平成24年度松崎町雲見集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 議長は可否同数の採決以外は、採決に加わらない。



保育園と幼稚園の統合は



藤井 要 議員

第5次総合計画の基本は

未来を見つめる里づくり

質問

第5次総合計画に向けたアンケート調査を実施し、回収数685件、回収率45.7%だったが、40歳代までの回収率は24%、167人と少ない。魅力的な町づくりを進めるなら、年代ごとの意見を聞けるような調査にすべきでないか。

町長

無作為抽出となると無関心の人もいる。平成24年度には地区懇談会を実施し、多くの意見を聞いていきたい。

質問

議員報酬の削減が議論されているが、委員会組織の統合再編、特別職の報酬見直しなどによる財源の捻出で子育てや福祉、災害対策にまわせないか。議員報酬を削減した場合、町長も自らの報酬を削減する気持ちはあるのか。

町長

給料が高いとは思っていない。削減する気持ちはもない。それだけの仕事をしていると思うている。

私の経験から、議員報酬についても高いとは思わない。

総務課長

委員会の関係については、国の行政改革大綱があり、町の委員会を大幅に見直した経緯がある。

聖和保育園との統合は

町の方針定まらず

質問

聖和保育園に委託料として年に5千万円余が支払われていると聞く。新生児の数も減少しており、松崎幼稚園の一園化に合わせて、聖和保育園との委託内容を検討し、認定こども園的な新園舎を建設する考えはないか。

町長

聖和保育園と町立幼稚園の二園体制を維持した



いと思っている。教育委員会や健康福祉課、聖和保育園とどのような形が一番良いか話し合ってきた。

観光施設も赤字

一体となり取り組む

質問

まつぎ荘の赤字は、今年度2千900万円余と圧縮されているが、人件費の削減2千万円余が大きな要因である。そのほかの振興公社の赤字が2千500万円余で、このままにしているとシロアリに食い尽くされた状態になってしまわないか。

町長

職員の給与カットなど理事長として苦しい思いをしている。町の地域資源を活用し、文化の振興や地域の活性化を図ってきたわけで、町の観光の先兵として貢献してきた。町職員との垣根を無くし、一体となって赤字解消に取り組んでいく。

総合計画に住民ニーズを

懇談会開催や意見公募で



高柳 孝博 議員

質問

地域ごとの計画策定は、

町長

新たに地域ごとの計画を作るのではなく、地域の現状や活性化策を勘案して総合計画を策定する。

質問

地域ごとの現状認識・課題と目標は。

町長

平成23年度は、町民意識調査と各種団体ヒアリングなどを実施した。平成24年度は町内4地区との懇談会開催やパブリック

ご活躍いただけるような施策の拡充や、趣味と生きがいの持てる講座の開設などを検討し、健康で元気な高齢者を増やすことで医療費の掛からな

いまちづくりを進めていきたい。

日本で最も美しい村は

住民の皆さんと共に

質問

花とロマンの里づくりとの関連は、連合への加盟の効果は。

町長

花とロマンの里づくりの基本理念そのものであり、町が進むべき方向を「美しい村」という旗を掲げ、対外的にも町民に向けても明確に示すということである。地域資源の魅力、美しさを再評価することで、住民の地域への愛着心や誇りを醸成し、全ての住民が関り、資源の保全、活用をすることで地域の活性化、自立が図られるものと認識

している。

「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」宣言のように住民が主体性をもって、行政と共同で進めていくので、理解と協力をお願いしたい。

質問

連合への参加の条件と取り組みはどのように進めるか。

町長

景観、環境、文化に関

する地域資源が二つ以上必要で地域資源の持続的な活用の努力、条例などにより地域資源が保護されているかなどがチェックされる。

資格委員会の書類審査、現地審査に向けてシンポジウムや講座を開催し、審査の条件や評価点70点以上をクリアして平成25年度加盟を目指していきたい。



世界でいちばん富士山がきれいに見える町宣言（2月23日）



浸水対策工事（三省社付近）



鈴木 源一郎 議員

国庫負担は減る一方だ

費用増加値上げやむなし

質問

介護保険料が3年ごとの見直しでこの4月から値上げされる。また、介護保険の制度改悪によって給付も変り、ダブルでお年寄りのくらしを圧迫することになる。

それも自公政権時代に「社会保障2千200億円削減に強く反対していた民主党」が政権の座につくと「税と社会保障の一体改革」と称し、一転して保険料の値上げや制度改悪をやるうとしている。お年寄りの年金は減らされる一途である。

これに対し市町村側からその改善のため、厳しく物を申すことは至極当たり前ではないか。

町長

介護保険料は、3年間の介護サービス費用の総合計を基に算定をしており、毎年費用が増えるため保険料の値上げは避けられず、国庫負担を増やせばその分どこかに影響が及ぶので慎重な対応が

必要だ。みんなで支え合うことが必要ではないか。

質問

介護保険が発足して11年になるが、初めは国が50%を負担した。それがだんだん減って25%になり、20%にしようとしている。国がしっかりと責任を果たすことなく改善は図れない。国に対し、しっかりと要求することが必要だ。

町長

共産党からも国に対し、働き掛けていただきたい。

浸水対策工事効果疑問

それなりの効果はある

質問

現在、三省社前でやっている排水路工事は一段落し、次の工事も始まる。あの付近は治水対策が必要なところだが、ドブに流れ出す排水路の水位があれ以上は下がらないため、大きな治水効果は期待できない。

河口に巨大水門ができ

れば洪水時に大川の流れを狭め、低い地域の浸水被害はむしろ増大するのではないか。

町長

抜本的浸水対策には相応の経費と年数を要することから、効果が早期に発揮できる個所から順次取り組み、関係住民の不安を解消するようにしたい。

浸水被害対策は降水量や潮位の影響が考えられるので、100%ということはないが、それなりの効果があると思うのでこれからも進めていきたい。

質問

「順次整備」が終わっても、水門ができれば浸水被害は増えるのではないか。

町長

効果があると考えているので工事をやっている。

震災地のがれき焼却は

受け入れられない



佐藤 作行 議員

質問 東北地方のがれき焼却について、町の基本姿勢は。また、その理由、町長の心情は。

町長

現在、町の可燃ゴミ焼却灰の処理については、他県の最終処分場に委託しているが、委託先の最終処分場から震災がれき焼却灰の受け入れを拒否するという回答がきているため、町として震災がれきを受け入れることができない状況である。

却していただきたいと言えるのか。

町長

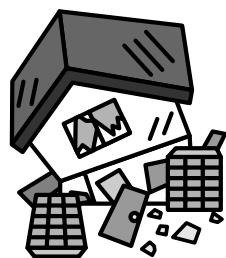
空想の話なので言えないわけだが、現実としてそういう難しい問題があるので、やはりそのハードルは非常に高いと思っている。

質問

松崎町はいろいろハードルが高いなどと言って、いろんな意を付けて断つて、焼却する意思がない。そういう形になると全国の皆さまから、松崎町は大変冷たいと思われるのではと心配するが。

町長

島田・静岡・浜松・富士・伊東・裾野・西伊豆の7市町が試験焼却を実施する意向があると言っているわけだが、本当にするかどうかわからないところもある。



日本で最も美しい村は
自らの地域に誇り

質問

「日本で最も美しい村」連合についての目的と参加決意の経緯は。

町長

加盟を通じ、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づく

りを推進できる。住民による町づくり活動を展開することで地域の活性化を図り、自立を促す。生活の営みにより作られてきた景観と環境を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展に寄与するもの。



岩手県宮古市内（平成23年8月被災地視察時撮影）

地震津波対策の方針は

防災意識を持ち続ける



福本 栄一郎 議員



避難場所として手すりが設置された環境改善センター屋上

質問

東日本大震災から1年となるが、町長の所感は。

町長

あの災害が自分の町で起きたらということを考えてみると、誰もが大きな不安を抱き、防災意識も大きく変化した。

質問

地震・津波対策について、町の皆さまの安心度・満足度をどのようにして具現化していくのか。

町長

町の皆さまの要望を良く聞き、重要性・緊急性を見極めた対応をしていく。

また、地域防災対策のあり方も、従来のような行政主導型、画一的なものからの視点を変え、そこに住んでいる皆さまにあった方法を模索して進めて行きたいと考えている。

質問

平成24年度予算案で「ソフト対策」、「ハード対策」別にどのように反映させるのか。

ているのか。

町長

災害対策費は、前年度比800万円増となる約2千400万円を計上した。「ソフト対策」では、孤立集落用の衛星携帯電話、自主防資機材整備事業に対する補助金など。「ハード対策」としては、避難路・避難ビル表示板・津波監視カメラ設置工事費を計上した。

カメラの必要性は

夜間は映らない

質問

津波監視カメラの設置工事費が、1千万円となっている。内容と設置箇所は。

総務課長

インターネットを利用したものを想定している。設置箇所は、松崎・岩地・石部・雲見を予定している。

質問

このカメラは、夜間は映るのか。

総務課長

昼間だけ閲覧可能ということで考えている。

質問

予想される東海地震が発生すると5分程度で津波が来る。松崎地区では津波監視カメラよりも避難路・避難タワーが必要ではないか。

町長

考えていきたいと思う。

災害復旧チームは

今後考えて行く

質問

防災士の育成と災害復旧チームを作る考えは。

町長

震災を経験すると非常に心もとないところがある。今後考えていきたい。

総務課長

災害復旧チームの必要性は感じる。将来に備えてどのような形で対応できるのか真剣に考えていく。

平成24年第1回臨時会

第1回臨時会が1月30日に開催され、幼稚園2園化条例など3議案が原案どおり可決された。

今回の臨時会は、昨年12月定例会で否決された幼稚園2園化条例について、一部内容の見直しを図り再上程されたもの。

条例案では、目的として1園に統合されるまでの間、津波被害防止対策を講ずることにより、在園児の安全を確保すると、また、併せて通園バス

利用料を旧案の半額となる月額千円に定める通園バス使用料徴収条例、園バス購入と松崎・三浦両園の遊具などの移設費用660万円を盛り込んだ一般会計補正予算案も可決された。

問 いつごろまでに1園化を図っていくのか。町長 県の第4次被害想定が平成25年6月頃には

策定される見込みであり、それを踏まえて1園化を進めていきたい。

問 総合計画への組み入れをどう考えるか。教育委員会事務局長 毎年、総合計画の見直しがあるので、ある程度の方向性が見出せれば教育施設等整備検討委員会と協議し、総合計画に盛り込んでいきたい。

議会のうごき

1月

12日	広報編集委員会
19日	広報編集委員会
20日	賀茂郡議長会（東伊豆町）
24日	議会全員協議会
25日	共立湊病院組合議会全員協議会 共立湊病院組合議会臨時会
26日	議会だより94号発行
30日	第1回臨時会 西豆衛生プラント組合議会臨時会
31日	静岡県地方議会議長連絡協議会 研修会（静岡市）

2月

8日	議会全員協議会
17日	静岡県町村議会議長会（静岡市）
27日	共立湊病院組合議会定例会
29日	議会運営委員会 広報編集委員会

3月

2日	議員会勉強会
6～8、12～14日	第1回定例会
21日	西豆衛生プラント組合議会定例会
22日	西伊豆広域消防組合議会定例会

発行責任者

議長 斉藤 重

編集委員長

関 唯彦

編集委員

土屋 清武
藤井 要
福本 栄一郎
佐藤 昭宏
稲葉 昭宏



松崎幼稚園感謝の会（2月29日）

海鳴り

新年度がスタートしました。昨年は震災を始めとする自然災害が猛威を振るい各地に大きな爪痕を残した年でした。当町においては直接的な被害はありませんでしたが、入込客の減少など経済面では少なからず影響を受けました。

町議会におきましては平成23年4月の選挙により選ばれた議員たちが就任から丸一年を迎えようとしています。なかでも5人の新人議員たちが意欲的に活動に取り組む姿を目にし、心強く感じた一年でもありました。

当町の新年度予算にも防災を始め、観光面などで新たな取り組みが盛り込まれ、景気回復の起爆剤となるよう期待を寄せるものです。新年度を迎え、議会としてその役割と責任を再認識し決意を新たにいたしました。

（議長）